

## ＜<sup>ふじおか</sup>藤岡地域＞

### ■三井寺伝説

<sup>しょうあん</sup>承安四年(1174)のこと、牛若丸が<sup>やまぶし</sup>山伏姿となり、僧姿の<sup>べんけい</sup>弁慶を供にし、商人金売吉次の案内で<sup>ひらいずみ</sup>平泉に向かう途中、<sup>みかも</sup>三鴨駅のところで、日はとっぴりと<sup>く</sup>暮れてしまった。そこで、三井寺に一夜の宿を<sup>こ</sup>乞うたのだが、<sup>い</sup>容れられなかった。

<sup>べんけい</sup>弁慶は、大いに怒り、寺の<sup>しょうろう</sup>鐘楼の<sup>かね</sup>鐘を持ち上げるや、<sup>せいりゅうだけ</sup>青竜岳の山頂にて打ち鳴らし、打ち裂き落し、<sup>くぼ</sup>たらい窪に落としてしまった。